



やくそくの^ち地での ^{あたら}新しい^{らし}くらし

だい9しょう



リーハイのかぞくをのせた船は、海をこえ、ついにやくそくの^ち地につきました。リーハイのかぞくは、てんまくをはりました。(1ニーファイ18：23)



やがて土をたがやし、もって来たたねをまきました。(1ニーファイ18：24)



また、あちこちをめぐり歩いて、いろいろな^{ある}どうぶつがいるのを見つけました。金やぎん、どうも^{みつ}けました。(1ニーファイ18：25)



神はニーファイに、きろくをつけるためのきんばんをつくるように言われました。ニーファイは、かぞくのこと、たびをした^{とき}のこと、そして神の^{かみ}ことばを書きました。(1ニーファイ19：1, 3)



年おいたリーハイは、しめ前にむすこたちに話をし、神の^{かみ}いましめをまもるように言いました。そして、まごたちを^{しゅくふく}しました。(2ニーファイ1：14, 16；4：3-11)



リーハイがしぬと、レーマンとレムエルは、ニーファイにはらを立て、ニーファイをころそうとしました。二人は、第二ニーファイにさしずされたくなかったのです。(2ニーファイ4：13；5：2-3)



主はニーファイに、正しい人びとをつれて、あれ野へにげるように言われました。そこでニーファイと、ニーファイにしたがう人びとは、何日もあれ野をたびし、ついにニーファイと名づけた地にたどりつきました。(2ニーファイ5：5-8)



ニーファイにしたがう人びとは、神にしたがい、よきはたらき、しゅくふくをうけました。木ときんぞくをつかってけんちくするほうをニーファイから教わり、りっぱなしんでんをたてました。(2ニーファイ5：10-11, 15-16)



レーマンとレムエルにしたがった人びとは、レーマン人および、ひふが黒くなりました。わるい行いをしたので、神がのろいを下されたのです。(2ニーファイ5：14, 21)



レーマン人は、なまけものとなって、はたらこうとしませんでした。(2ニーファイ5：24)



ニーファイにしたがった人びとは、自分たちをニーファイ人とよびました。レーマン人はニーファイ人にくみ、ほろぼそうとしました。(モルモン書ヤコブ1：14)